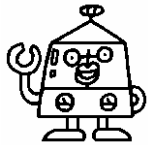


## コメの栄養は、イネのどこでつくられたの



コメの栄養は、イネの長い葉の中でつくられ、それがたね(コメ)に運ばれて、たくわえられたものなんだよ。

### 植物の緑の葉は、デンプン生産工場

動物は、水と食べ物がなければ、生きていけません。ところが、日のよく当たる地面に植えられた植物は、水だけやれば、どんどん大きく成長するように見えます。

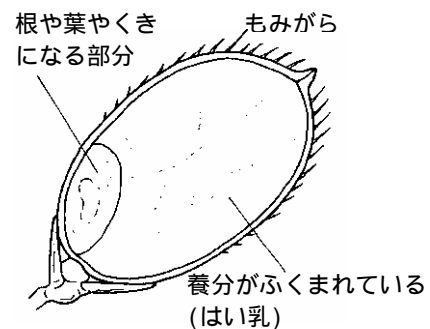
じつは、植物は、緑色の葉の中でせっせと栄養分をつくっているのです。食べ物をとらなくても生きていけるのです。

植物の葉にふくまれた緑の色素には、日光の助けをかりて、水と空気中の二酸化炭素<sup>にさんかたんそ</sup>を材料にし、デンプン<sup>たんぷん</sup>をつくるはたらきがあるのです(これを光合成という)。だから、葉がしげった植物は、水があり、葉に日光がよく当たっている間は、どんどんデンプンをつくり続けます。そして、できたデンプンは、植物の葉、くき、根などの成長のエネルギーに使われるほか、たね、いもなどにたくわえられます。

### たねやいもなどには、発芽に必要な栄養分がたくわえられている

米は、イネのたねです。たねは、植物の子孫を残す役目をします。たねは、発芽<sup>はつが</sup>し、新しくできた葉でデンプンをつくることができるようになるまでは、どこから栄養分をもらわなければなりません。そのため、たねの中には、たっぷり栄養分がたくわえられているのです。

人間は、イネが発芽のために用意した栄養分のつまったたねを、ご飯として食べているのです。ジャガイモはたねができないかわりに、いもに栄養分をたくわえてあり、いもを土に植えると、たくさんの芽が出てきます。そして、新しくジャガイモが育ち、またたくさんのいもができます。



イネのたね